

令和 7 年（2025 年）1 1 月 2 7 日

士別市長 渡 辺 英 次 様

士別市振興審議会  
会長 北 村 浩 史

第 2 次士別市まちづくり総合計画について（答申）

令和 6 年（2024 年）4 月 26 日付け士総企第 72 号で諮問のありました「第 2 次士別市まちづくり総合計画」（以下、計画という）の策定について、本会での協議をはじめ「総務文教」「民生福祉」「経済建設」の部会における専門的な見地や市民としての視点で審議を重ねてきました。

審議は、現総合計画の検証を行うなかで、社会情勢等の変化に伴う諸課題への対応を基本に「本市の将来や人口減少を見据える」「市民の幸福につながる」など、多角的な視点で進めてきました。

こうしたなか、計画の策定及び向こう 8 年間で目標達成に向けた施策を推進するため、必要な視点を取りまとめたので、下記のとおり答申いたします。

今後、本答申の趣旨に基づき、2050 年のあるべき姿を見据えた施策や事業等を検討いただくとともに、速やかに計画を策定し、その着実な推進に努めてください。

記

- 1 2050 年を見据えた本市のありたい姿が実現されるよう、目標達成につながる施策の策定及び計画の推進に努めること。

- 2 市の将来像を見据えた長期ビジョンを達成するため、効果的・効率的な事業の実施に努めること。
- 3 国の推計を上回る本市の人口推計の目標を達成するため、人口の減少を抑制する取り組みや関係人口の創出・拡大に努めること。
- 4 計画の推進にあたっては、士別市まちづくり基本条例の基本原則である「市民自治」及び「情報共有」の適切な運用に努めること。
- 5 計画がより多くの市民に意識・理解されるよう、常に様々な機会を捉えて周知すること。
- 6 計画が様々な主体の協働により推進されるよう、市の職員一人ひとりが計画への理解を深め、協働をリードできる人材の育成を図ること。
- 7 計画が実効性のあるものとなるよう取り組み、進行管理にあたっては、取組の評価に重点を置き、必要な改善を講じながら推進すること。

以上